# フェルマーの最終定理の初等的証明

#### うんざりはちべえ

#### 最新第二版 2023 年 3 月 12 日

### はじめに

#### 更新履歴

2023.3.11 新規作成

2023.3.11 第一版

2023.3.12 第二版

# フェルマーの最終定理

 $a^n+b^n=c^n$  が成り立つ互いに素な自然数 a,b,c が存在すると仮定する。ただし、 $n\geq 3$  とする。

背理法を用いる。

# 1 フェルマーの最終定理の初等的証明

さて、公式より、

$$c^n - b^n = (c - b)\{c^{n - 1} + c^{n - 2}b + c^{n - 3}b^2 + c^{n - 4}b^3 + \cdot \cdot \cdot + cb^{n - 2} + b^{n - 1}\}$$

また、 $c^n - b^n = a^n$  よって、

$$a^{n} = (c-b)\{c^{n-1} + c^{n-2}b + c^{n-3}b^{2} + c^{n-4}b^{3} + \cdot \cdot \cdot + cb^{n-2} + b^{n-1}\} - - - (a)$$

ここで、 $\{\}$  の中は、初項  $c^{n-1}$ 、項比  $rac{b}{c}$ , 項数 n の等比級数である。

$$a^{n} = (c-b)c^{n-1}\left\{1 + (\frac{b}{c}) + (\frac{b}{c})^{2} + (\frac{b}{c})^{3} + \cdots + (\frac{b}{c})^{n-2} + (\frac{b}{c})^{n-1}\right\} - - - (b)$$

(b) 式の両辺を  $a^t$  で割ると、a,c は互いに素であるから、(b) 式の右辺の  $c^{n-1}$  は  $a^t$  は割り切れない。ただし、t は t < n の自然数である。

ゆえに、右辺の $c^{n-1}$ を除いた式は $a^t$ の倍数でなければならない。

$$pa^t = (c-b)\{1 + (\frac{b}{c}) + (\frac{b}{c})^2 + (\frac{b}{c})^3 + \cdot \cdot \cdot + (\frac{b}{c})^{n-2} + (\frac{b}{c})^{n-1}\} - - - (c)$$

でなければならない。ところで、等比級数の和の公式から、{}の中は、

$$\frac{\left(\frac{b}{c}\right)^n - 1}{\left(\frac{b}{c}\right) - 1} = \frac{\left(\frac{b}{c}\right)^n - 1}{\frac{b - c}{c}}$$

$$= c\frac{\left(\frac{b^n}{c^n}\right) - 1}{b - c}$$

$$= c\frac{\frac{b^n - c^n}{c^n}}{b - c}$$

$$= \frac{b^n - c^n}{c^{n-1}(b - c)}$$

ゆえに、

$$pa^{t} = (c - b) \left\{ \frac{b^{n} - c^{n}}{c^{n-1}(b - c)} \right\}$$
$$pa^{t} = \frac{c^{n} - b^{n}}{c^{n-1}}$$
$$pa^{t}c^{n-1} = c^{n} - b^{n}$$
$$pa^{t} = c - \frac{b^{n}}{c^{n-1}}$$

右辺は、b,c が互いに素であるから、 $\frac{b^n}{c^{n-1}}$  は、割り切れない。したがって、左辺の  $pa^t$  は自然数であるが、右辺は自然数でない。よって、(c) は、成り立たない。つまり、 $a^t$  の倍数にはなれない。

すると、(b) は、左辺は割り切れるが、右辺は  $a^t$  が割り切れないので、成り立たない。 ゆえに、(a) 式は成り立たず、 $c^n-b^n=a^n$  は成り立たない。 よって、フェルマーの最終定理は証明された。